



参加の皆さん



キシノウエタテグモの住居
(戸を開けたところ)

貴重なキシノウエタテグモ

縄文時代から変化のないじゅん菜池の斜面林の崖地のようなところに戸付きの穴の巣に暮らしています。千葉県レッドデータブックでは、重要保護生物に指定されています。



ジョロウグモ

都会緑地でも見られ、大きな馬蹄型の網を作って、身近な小昆虫を捕らえて食します。



ジョロウグモの特徴は、横糸が細かく、五線譜のように見えます。また、網の構造は、立体的な3層構造になっています。



タナ網 クサグモ、コクサグモなどがシート状の網を張ります。

2018,9,1
「クモの観察会」
加藤輝代子氏
(日本蜘蛛学会員)
によるー



オオシロカネグモの水平円網
水辺に多く生息します。



オオシロカネグモの雌



シロカネイソウロウグモ
(他のクモの巣に居候する)

ナガコガネグモの狩の様子



獲物のオンブバッタを捕えた瞬間糸で絡めはじめます。

次々と糸をかけていきます。

アっという間に全体をがんにがらめに糸でからめてしまいます。

ナガコガネグモ
円網にジグザグ状の
かくれ帯が目立つ



まだまだ糸をしっかりと

しっかりと縛り上げるように糸を絡めました。一分間のできごとでした。

獲物を絡めて、動かなくなるまでしばらく待ち、その後、消化液を注入して、消化されたスープ状のものを吸収します。その食事は、元の中央の位置に戻ってします。

2018,9,1
「クモの観察会」
加藤輝代子氏
(日本クモ学会員)
による—Ⅱ



アズチグモ



ゴミグモ